

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

とべZOO

2020

Vol-32

No.3



目次

ZOO Diaryグラフ	3
動物病院から	5
Keeper's Note	6
Zoo Memories	7
動物園再発見	8
とべとべCOMIC	10
飼育レポート	12
職員紹介	16
読者投稿用紙	17
どうぶつなぞなぞクイズ	19

表紙説明

■グリーンイグアナ

学名：*Iguana iguana*

英名：Green Iguana

子どもの頃は鮮やかな緑色をしたトカゲですが、大人になると灰色やオレンジ色になることもあります。中南米の熱帯雨林の水辺周辺に生息しています。足がよく発達しているため樹上を素早く動くことができ、泳ぎも得意です。大きさは90cm～130cm、最大で180cmにもなります。食性は植物食ですが、子どものころは昆虫を食べることもあります。寿命は20年ほどです。

頭から尾にかけてはクレストと呼ばれるたてがみのような鱗が、首下にはデューラップと呼ばれる皮膚のたるみがあり、どちらもオスの方がメスより発達しています。また、オスは頬にあるコブも大きく発達しています。

(写真：池田 智亮・文：西森 明弥)

ZOO Diary グラフ

2020. 8. 1
↓
2020.10. 31

世界オランウータンの日 ～8月19日～



8月19日は「世界オランウータンの日」です。絶滅の危機に瀕しているオランウータンのことをたくさんの人に知ってもらうために担当者がガイドを行いました。暑い中たくさんの方が来てくださいました！

ライオンの赤ちゃん命名式 ～9月20日～



6月1日と3日に誕生したライオンの赤ちゃんの名前が「ララ」ちゃんと「イオ」ちゃんに決定しました。ぜひお名前を呼んであげてくださいね♪これからの成長が楽しみです！

敬老の日イベント ～9月20日～



9月21日の敬老の日にちなんで、ラマのイトヨ（♀・20歳）とイクヨ（♀・19歳）のご長寿をお祝いし、表彰状が授与されました！イトヨさん、イクヨさんこれからも長生きしてね♪

世界サイの日 ～9月22日～



9月22日は「世界サイの日」です。野生のクロサイの現状を知ってもらうために担当者がパネルやサイの角などを使ってガイドを行いました。目の前でカシの枝葉を食べる姿が迫力満点でした！

【毎月のガイド】

- 平日のみ「ペンギンのお食事タイム」
- 毎日曜日「キリンの瞳に大接近」
- 毎土・日曜日・祝日「ヒポヒポランチ」(有料)
- 第3火曜日「園内まったりお散歩」
- 毎日曜日「ZOOタイム1130」
- 第3日曜日「愛媛動物友の会例会」

* 有料ガイドのチケット販売及び参加申し込みは管理事務所でしています。

* その他のイベント・ガイドは状況次第で順次再開いたします。

搬入報告

- 10月 1日 エランド(♂)
- 10月 1日 シロオリックス(♂)
- 10月 1日 シロオリックス(♀)

エランドのビッツ(♂)が東北サファリパークからやってきました！年齢は1歳で、無邪気で人懐っこい性格です。クリっとした大きな目が素敵です☆



シロオリックスのセツナ(♂)とリリィ(♀)が岩手サファリパークからやってきました！セツナは物怖じせず人懐っこい性格で、リリィはちょっぴり怖がりな性格です。



ようこそとべZOOへ！これからよろしくね♪

出産報告

- 10月 3日 アカカンガルー(?)
- 10月 4日 アカカンガルー(?)
- 10月 29日 マントヒヒ(♀)

マントヒヒのメカ(♂)とスアルジュ(♀)との間に1頭の赤ちゃんが誕生しました。お母さんにぎゅっとしがみついている姿がとても微笑ましいです(*^-^*)



死亡報告

- 8月 14日 ムクドリ(♀)
- 8月 25日 オグロワラビー(♂)
- 8月 25日 カミツキガメ(♀)
- 9月 14日 オグロワラビー(♂)
- 10月 3日 ケツメリクガメ(♂)
- 10月 8日 オオコノハズク(♂)
- 10月 14日 カミツキガメ(♀)
- 10月 15日 ギリシャリクガメ(♀)

ケツメリクガメのバム(♂)が腎不全のため亡くなりました。スネークハウスの館内を自由に歩き回る姿が人気で、たくさんの人に愛されていました。



オオコノハズクのモカ(♂)が呼吸器不全で亡くなりました。8年前に新居浜市で保護されました。オレンジ色のくりくりした目がとても印象的でした。



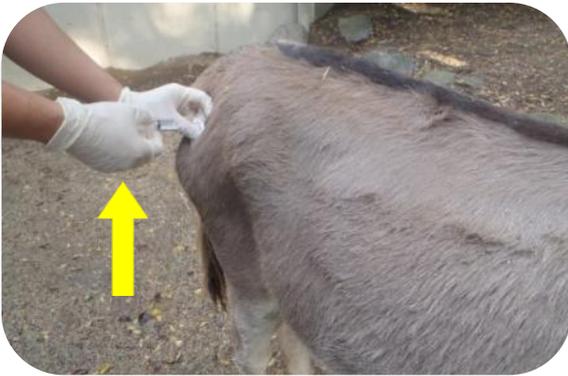
ありがとう
やすらかに・・・



麻酔の道具

前はハズバンダリートレーニングという麻酔なしで採血や動物のお手入れができる方法を紹介しました。すべての動物がおとなしく処置をさせてくれれば良いのですが、なかなかそうもいきません。どうしても麻酔が必要になることがあります。今回は動物に麻酔をかけるときに使う道具を紹介します。

① 手（て）



確実に薬剤を注射することができます。

動物に触れる必要があり、猛獣など人の安全が確保できない動物や、逃げ回るなどして近づくことができない動物には使えません。

② 槍（やり）



棒の先に注射器をつけたものです。「手」よりは棒の長さの分だけ動物から距離をとれます。使用時には動物に安全に近づけるだけでなく、注射の後に動物から安全に逃げられるかどうかにも気を配ります。

③ 吹矢（ふきや）



薬を入れた矢（注射器）を飛ばすので、「手」「槍」よりも安全に動物に注射できます。射程距離は4～5m程度です。矢の勢いや当たる角度によっては皮膚に弾かれて刺さらないことがあり、飛ばすにはちょっとしたコツも必要です。

④ 銃（じゅう）



拳銃やライフル銃と比べると玩具みたいですが、これでも立派な銃で、空気（ガスボンベ）の力で矢を飛ばします。紹介した中で一番射程が長い反面、当たった時に動物に与える衝撃も大きいです。

人に慣れていない動物への麻酔は、失敗すると動物に警戒され距離をとられてしまい、次がやりにくくなります。また、動物に余計なストレスもかかります。獣医師は人の安全を確保したうえで、その個体ごとに一番ストレスを与えず、しかし確実に注射ができる方法を考慮し、実施しています。

（池澤 紅輔）

Zoo memories

～記憶に生きる動物たち～

スローロリス・ハリー



Profile

性別：メス

2002年 1月25日
とべ動物園生まれ(人工哺育)
2012年 11月17日死亡
(享年 10)

性格

マイペース

好きだった食べ物

ぶどう

ゆび さし だすと、じぶん からつかみに 行こう とするハリー。こうして、「ハリーの握手」が 生まれました！



ハリーは、日本の動物園で初めて人の手 によって育てられたスローロリスです。生 まれた時わずか27gだった小さなハリー が成長していく姿は絵本にもなり、話題 になりました。

握手するスローロリスとしても人気が、 「カモン！スネークハウス」では沢山の来 園者の心を和ませてくれました。



担当キーパーの思い出ばなし

人工哺育中は発泡スチロールの箱の中で飼育していた のですが、成長するにつれてどんどん活発になり、遂に は箱の外に逃げ出してしまった事がありました。

ジッとたまま動かないハリーを相手に、かくれんぼの オニをしているかの様でしたが、本柵の隙間に隠れている ところを発見した時は心の底からホッとしました。



Keeper's Note

1歳になった あの仔たちは今…？

クロサイのフー(2019年9月2日生)

クロサイのフー君も1歳となり、体長160cm、肩高90cm、推定体重約300kgに成長しました。誕生日にはケーキに見立ててニンジンやサツマイモなどの野菜をたくさん食パンの上に乗せ、職員でお祝いしました。最初はおそろおそろ近づきましたが、イモをひとつ食べると、鼻先を器用に動かして、ケーキの形を崩していきました。あとは母親のクーと奪いあう感じで、どんどん食べました。20分ほどで完食し、とても満足していたように見えました。

そんなフー君の最近の様子かというと、午前中は室内で過ごし、カシの葉を枝ごとボリボリ食べますが、まだ母乳も飲んでます。午後になると放飼場に出て、砂あびをしたり、角合わせをして動いています。たまに見られる母親との追いかっこはとても迫力があります。モートを一周するだけで、地響

きが聞こえてきそうな感じです。途中、水たまりがあるので、足元はびしょびしょになり、気持ち良さそうに見えますが、吐く息はしんどそうです。

こんな元気いっばいのフー君を見ていただきたいと思います。(佐々木 善基)



母親クー(左)と、まだまだ甘えん坊なフー(右)

ピューマのニコ(2019年10月25日生)

2019年10月25日生まれのピューマのニコも無事1歳を迎えることができました。2020年の夏からお母さんの元を離れ、立派な大人のピューマになるため、ひとり立ちの訓練をしています。まだまだ寂しいのか鳴いてお母さんを探していますが、遅かれ早かれ仔は親の元を離れていくものなので、ここはニコも試練の時でもあります。

ピューマ舎にはニコの叔父にあたり生まれつき視力の悪いインティも暮らしています。インティは不安から発声することが多いのですが、ニコはその声にも反応して鳴き交わしています。もしかするとインティの鳴き声も、兄弟姉妹にあたるお母さんにどこか似ているのかもしれませんが。

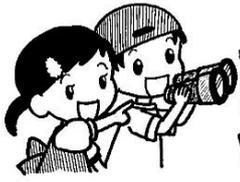
ピューマには幼少期、体に斑紋があります。模様は成長とともに薄くなり消えていくのですが、ニコには1歳を迎えてもまだ薄っすらと斑紋が残っています。よく観察しないと見えませんが…。



斑紋がうっすらと残るニコ

彼女自身、強く優しく愛情いっばいのラフお母さんと過ごした初めての冬は暖かだったでしょう。しかし今年の冬は彼女がひとりで乗り越える、初めての厳しい季節です。

今年に限っては、夜間にニコに電気ストーブを檻越しに近づけて暖をとらせてあげようかと思っています。(松浦 友貴)



動物園再発見

第二十七回 ミミナガヤギ編

ここは誰もが知っている動物をもっと詳しく見てみよう！というコーナーです。今回はパキスタン原産であるミミナガヤギを見てみましょう。

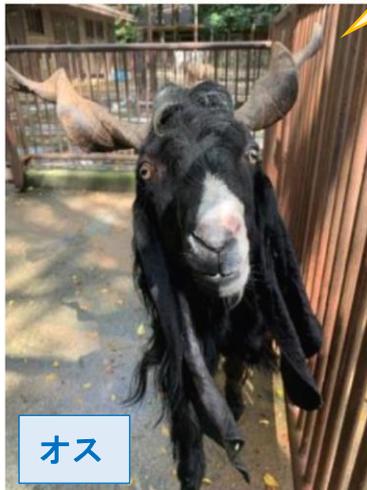
くるくるのツノ

ツノが小さい

ツノが大きい



メス



オス

ヤギのツノは、骨質の芯の周りにケラチン質の硬い表皮がついた「洞角（どうがく）」です。内側には血管や神経もあり、さわるとほんのり温かいです。ツノは一生のび続け、シカのように自然と生え変わることはありません。

上の歯がない?!

奥歯はあるよ！
見えにくいけど…



ヤギの仲間は上の前歯（切歯と犬歯）がありません。その代わりに、歯床板とよぼれるかたい歯茎（歯肉）があります。下の前歯と上の歯床板がそれぞれ包丁とまな板の役割をしており、これによってエサとなる草をかじりとっています。この特徴は、ウシやヒツジ、シカ、キリン、ラマなどにもみられます。

長い耳

血管が
いっぱい



ミミナガヤギの特徴でもある長い耳は、30～40 cmほどもあり、この耳は体温調節に役立っているといわれています。耳には血管がたくさん張り巡らされているので、暑い時はそこに風が当たることによって体温を下げています。

生まれた時か
ら耳が長いよ



しょんぼりポイント



耳が長すぎて、たまに自分で耳をふんでしまうことがあるよ。

もぐもぐ…

上の前歯がないウシの仲間は、エサがないのに口をもぐもぐさせていることがあります。これは反芻(はんすう)といって、胃の中のエサを再び口の中に吐き戻し、よく噛んでからまた飲み込むという行動です。こうすることによって、エサを消化しやすくしています。反芻を行う動物を反芻動物といい、この動物には胃が4つあります(ラクダの仲間は3つとされています)。

消化しやすくしているよ

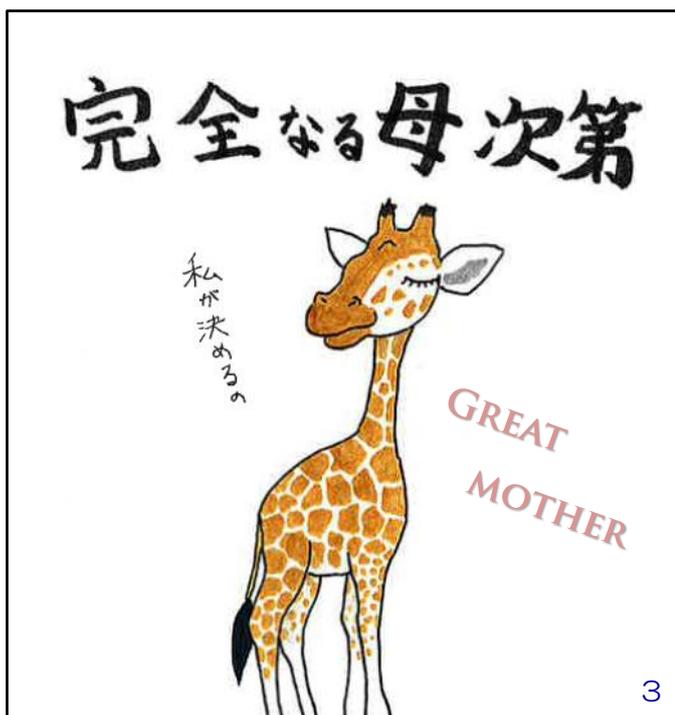


首のあたりを見ていると、飲み込んだエサが下りていくのと吐き戻されるエサが上がってくるのが見えておもしろいですよ。よく観察してみてくださいね。

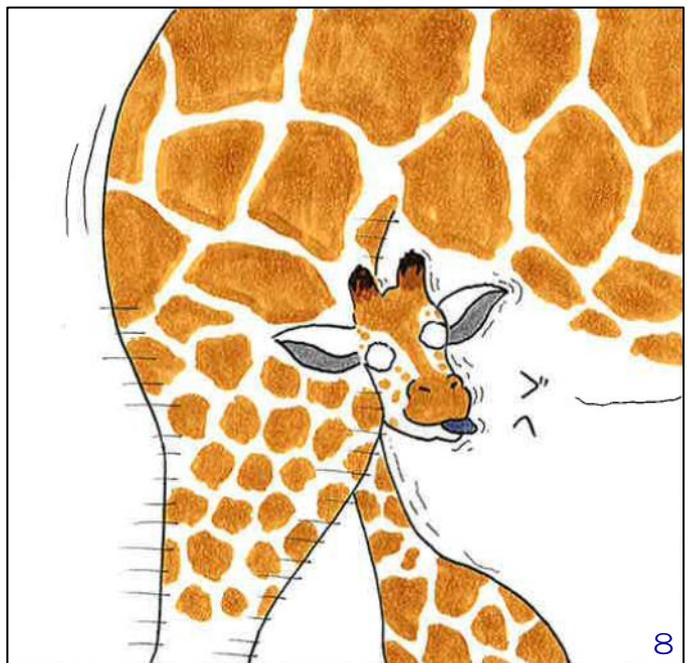
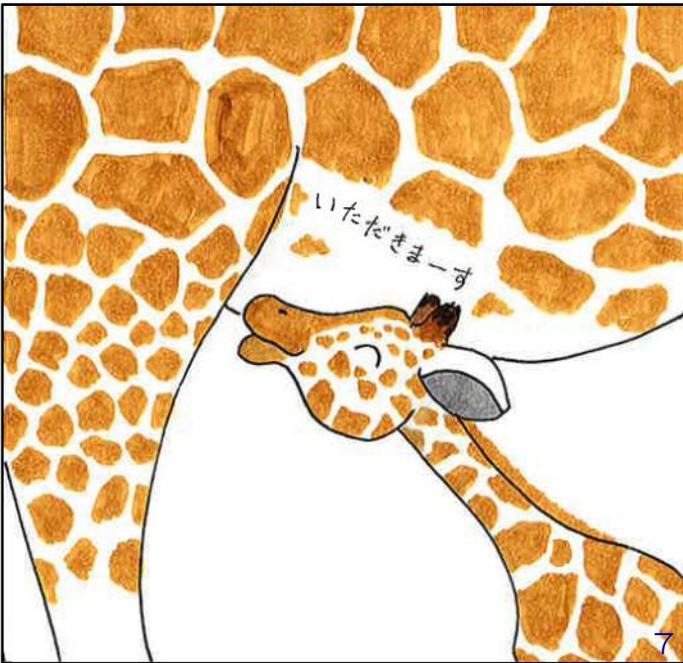
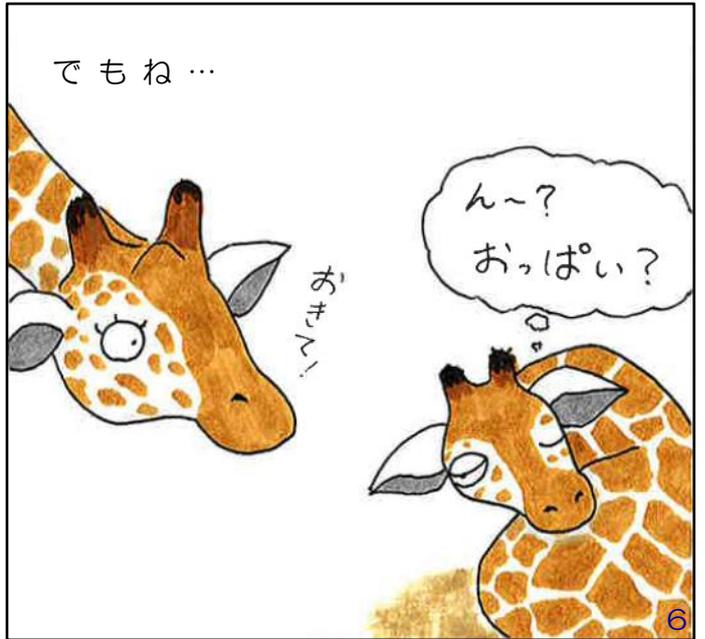
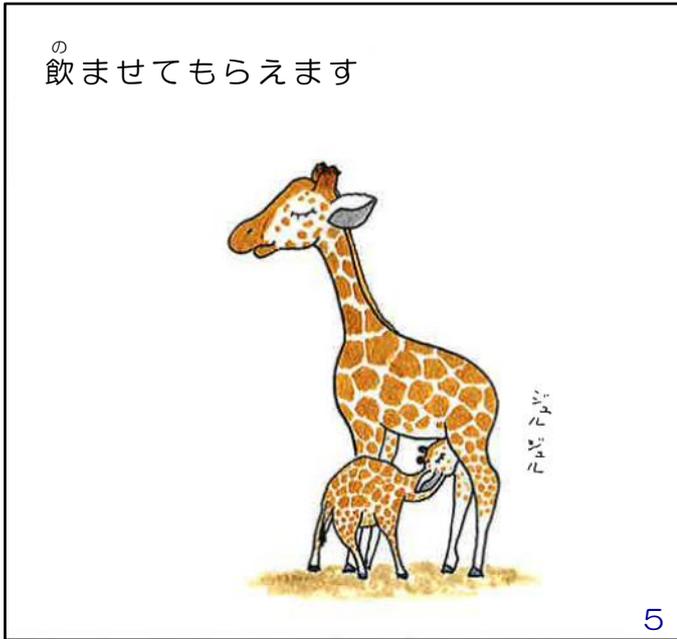


動物園の なにげない一日

～ がんばれ！リュウトくん ～



キリンのリュウトくん…生まれた時に 190 cm だった頭頂高も半年で 280 cm まで成長しました。
体が大きくなってまだまだ赤ちゃん！一日に二回ほど、お母さんのおっぱいを飲んでいきます。



 お母さんの「隙」を見つけては、おっばいに吸いつこうとするリュウトくん、そのほとんどは拒否されてしまい、強烈な後足が顔にヒットすることも…（涙）

キリンの出産前兆を知るための試み

主任 宮越 聡



☆はじめに

2020年5月13日、当園で10年ぶりにキリンが誕生しました。母親の杏子（あんず）にとっては初めての出産であり、1歳での搬入から大人への成長、リュウキ（♂父親）との同居などを見守ってきた私たち飼育員にとって待ちに待った出来事でした。15ヵ月という長い妊娠期間中、杏子の積極的な協力により、ハズバンドリートレーニングを活用した体の変化の観察や超音波診断による胎児の確認を行うこともできました。

今回、妊娠経過に伴う陰部と乳房の変化と、出産前の体温の変化ならびに行動調査を分析したので結果を報告したいと思います。

☆キリンのハズバンドリートレーニング

当園では主に、広い運動場に出る前にサブパドック（獣舎と運動場の間のスペース）でトレーニングを行っています。もともと警戒心の強い動物ですが、手から餌を食べてもらうことから始め、体を触っても驚かないように少しずつ慣れてもらいます。そして健康管理に必要な姿勢をとってもらうわけですが、基本となるのが柵と並行に横向きになってもらい（写真1）、体を柵に寄せてもらう姿勢です。この姿勢だと体の隅々まで触ることができ、また近くでの観察やカメラ撮影をすることもできます。体温測定は、この姿勢の状態です。直腸（お尻の穴）に体温計を挿入して行いました。



写真1

☆出産までの経緯と概要

2019年2月21日に二頭にとって初めてとなる強い繁殖行動が確認されました。これまでリュウキが杏子の背後につくことはあっても、すぐに杏子が回避するように離れていました。しかし、この日の杏子は逃げることなくリュウキを受け入れ、度々マウント行動が見られました。キリンの場合、個体差はあるものの二週間隔で一日の発情が見られるため、その後の二頭の様子を気にしていましたが、杏子に次の発情らしい様子は見られず繁殖行動もありませんでした。そんな中、同年5月に糞中ホルモンの調査に協力していた大学から、妊娠の可能性が高いと報告を受けました。その後当園でもトレーニングを経て、超音波検査診断装置（エコー）により、妊娠確定診断を得たため、腹部の観察を行いながら出産のときを待つこととなりました。図1は同居開始月から出産までの時系列です。

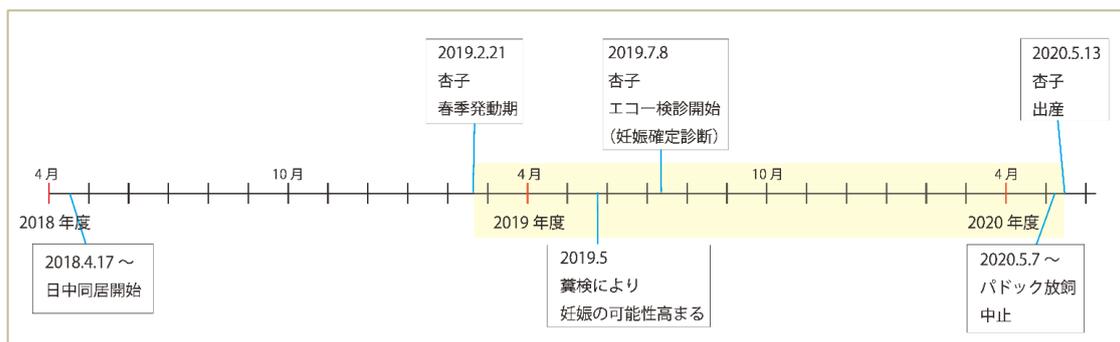


図1

2020年5月7日から、パドック放飼は中止とし、突然の分娩にも対応できるようにしました。そして2020年5月13日の午前10時過ぎ、分娩が始まりました。図2はEAZA（ヨーロッパ動物園水族館協会）のキリンガイドブックとの比較ですが、初乳を飲むまでに少し時間がかかったものの、初産ということも考慮しても安定した分娩であったと考えられます。

	分娩	起立	初乳	妊娠期間
EAZA	30~40分	60分以内	60~120分	420~480日
今回の出産	51分	55分	165分	447日

図2

☆妊娠経過に伴う体の変化（外陰部）

一般的に草食動物が妊娠した場合、外陰部が膨らむなど変化が見られます。そして、分娩が近づくと外陰部が緩み粘液が漏出されることもあるため、これが一つの出産前兆の合図といえます。図3は妊娠初期、妊娠中期、分娩後の陰部の様子です。

妊娠初期と中期を比べてみると陰部が膨らんでおり、分娩後には陰部の膨らみがおさまっているのがわかります。分娩後の写真が撮れたのが出産後12日経過してからですが、出産直後はこれよりも膨らみもない真っ平らな外陰部であったのが印象的でした。



図3

次に、出産一カ月前からの変化の様子です。図4は斜めから撮影した様子を、図5は正面から撮影した様子です。5月13日の写真は分娩が始まるおよそ30分前の写真です。

図4、5を見てわかるように、この頃になると外陰部の大きな変化は感じられず、微妙に少し変わったかな…などの曖昧なものでした。どちらかというと粘液の漏出の有無や、外陰部が緩んでいないかといったことを確認する毎日でした。分娩前の外陰部の弛緩も当初想像していたようなものではなく、結果



図4



図5

的に粘液の漏出もなかったため外陰部だけを見ての分娩予測は難しいと感じました。しかし、あとから教えてもらったことなのですが、外陰部の変化を見るポイントとして、全体の腫れを見るだけではなく外陰部の「しわ」に焦点を合わせて観察してみるとその変化に気付くこともあるそうです。しわが深いということは縮まっているということで、逆にしわが浅いと腫れていると考えることができます。それを頭に入れてもう一度写真を見比べてみると、また違ったとらえ方ができるかもしれませんね。

☆妊娠経過に伴う体の変化（乳房）

キリンの乳房は、鼠径部（後肢の付け根辺り）（写真2）に二対あります。杏子の乳房に変化が見られ始めたのは分娩の半月ほど前からでした。



写真2

図 6 より、まず上側の乳房が膨らみ始め、その後下側の乳房が膨らみました。当初もっと大きく乳房が張るとイメージしていたため出産もまだまだかと思っていましたが、結果的に下側の乳房が膨らんだ直後に出産となりました。個体差があるとは思いますが、全乳房の腫脹後に出産を迎えるというのは一つの目安になるかもしれません。

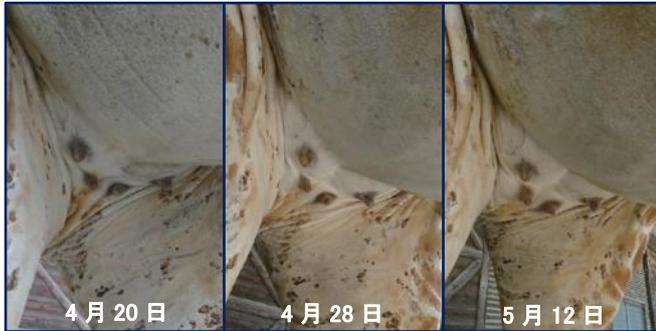


図 6

また、乳房の変化だけではなく、乳汁の漏出も分娩が近いサインといえます。キリンの場合、早いと分娩一カ月前から乳汁の漏出が見られることもあるそうです。ただ今回の杏子の妊娠中にはそれは認められず、人為的に乳頭を触ってみても分娩までに乳汁が出ることはありませんでした。

☆体温の変化

例えば、犬や牛は分娩が始まる前に体温が下がることから、検温を分娩予測に役立てることも多いようです。牛に近いとされるキリンも同様に分娩前に体温が下がるという情報を得たため、2019年10月より検温を行うことにしました。検温器具は婦人用の電子式体温計（8秒計）を使用し、基本的に毎朝同じ時間に測定しました（写真3）。また予定日の一カ月前からは、夕方に寝室での測定を追加し一日二回の測定を行いました。図7はこれまでの測定結果を表したもので、図8は分娩一週間前からの体温のグラフです。



写真 3

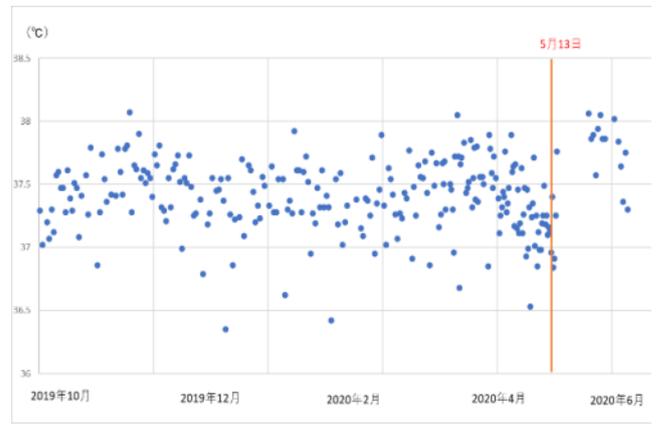


図 7

表 1

	体温(°C)
期間内最高値	38.1
期間内最低値	36.4
分娩前平均値	37.4
分娩後平均値	37.9

杏子の体温の分娩前平均値は 37.4°Cで、最高値は 38.1°C、最低値は 36.4°Cでした(表 1)。突発的に 38°Cを越えたり 36.5°Cを下回る原因として、8秒という短時間での計測ということと、糞が肛門付近にありうまく体温計が挿入できていなかったなどの可能性が考えられます。いずれにせよ、それらの値が継続することはなくほとんどが 37.4°C前後の数値で推移しました。ところが分娩前夜の 5月12日は、朝が前日の夕方に測定した 37.4°Cから 0.6°C下がった 36.8°C、夕方が 36.9°Cというあまり見ない 36°C台が続き、翌日の分娩開始 30 分前の計測では 37.3°Cと少し上がりました。明確ではありませんが、分娩前に体温が下がるということがキリンにもあてはまる可能性が考えられる結果となりました。また、分娩後は体温が上がり 37°C後半という測定結果がしばらくの間継続しました。

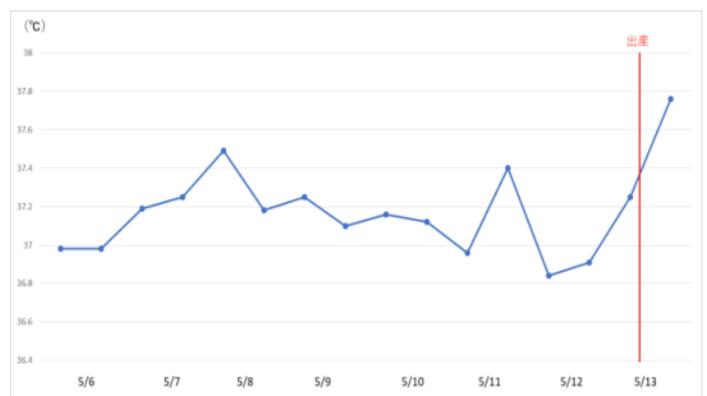


図 8

☆行動の変化（前夜の様子）

キリンの分娩前の様子は個体によって違います。落ち着きがなくなり部屋をウロウロするキリンもいれば分娩直前で座ってのんびりしているキリンもいる、餌を食べなくなるキリンもいればその逆もいたりときまざまなようです。図9、図10は、分娩前夜の5月12日と分娩後の5月15日のそれぞれ18時から翌朝5時59分までの12時間の行動を一分間の瞬間サンプリング法を用いてまとめて比較したものです。横が時間、縦が分を表しています。行動の色分けは以下の通りです。

1時帯	2時帯	3時帯	4時帯	5時帯	6時帯	7時帯	8時帯	9時帯	10時帯	11時帯	12時帯	13時帯	14時帯	15時帯	16時帯	17時帯	18時帯	19時帯	20時帯	21時帯	22時帯	23時帯	24時帯	25時帯	26時帯	27時帯	28時帯	29時帯	30時帯	31時帯	32時帯	33時帯	34時帯	35時帯	36時帯	37時帯	38時帯	39時帯	40時帯	41時帯	42時帯	43時帯	44時帯	45時帯	46時帯	47時帯	48時帯	49時帯	50時帯	51時帯	52時帯	53時帯	54時帯	55時帯	56時帯	57時帯	58時帯	59時帯	
18:00	18:01	18:02	18:03	18:04	18:05	18:06	18:07	18:08	18:09	18:10	18:11	18:12	18:13	18:14	18:15	18:16	18:17	18:18	18:19	18:20	18:21	18:22	18:23	18:24	18:25	18:26	18:27	18:28	18:29	18:30	18:31	18:32	18:33	18:34	18:35	18:36	18:37	18:38	18:39	18:40	18:41	18:42	18:43	18:44	18:45	18:46	18:47	18:48	18:49	18:50	18:51	18:52	18:53	18:54	18:55	18:56	18:57	18:58	18:59

図9：5月12日（18:00～翌5:59）

1時帯	2時帯	3時帯	4時帯	5時帯	6時帯	7時帯	8時帯	9時帯	10時帯	11時帯	12時帯	13時帯	14時帯	15時帯	16時帯	17時帯	18時帯	19時帯	20時帯	21時帯	22時帯	23時帯	24時帯	25時帯	26時帯	27時帯	28時帯	29時帯	30時帯	31時帯	32時帯	33時帯	34時帯	35時帯	36時帯	37時帯	38時帯	39時帯	40時帯	41時帯	42時帯	43時帯	44時帯	45時帯	46時帯	47時帯	48時帯	49時帯	50時帯	51時帯	52時帯	53時帯	54時帯	55時帯	56時帯	57時帯	58時帯	59時帯	
18:00	18:01	18:02	18:03	18:04	18:05	18:06	18:07	18:08	18:09	18:10	18:11	18:12	18:13	18:14	18:15	18:16	18:17	18:18	18:19	18:20	18:21	18:22	18:23	18:24	18:25	18:26	18:27	18:28	18:29	18:30	18:31	18:32	18:33	18:34	18:35	18:36	18:37	18:38	18:39	18:40	18:41	18:42	18:43	18:44	18:45	18:46	18:47	18:48	18:49	18:50	18:51	18:52	18:53	18:54	18:55	18:56	18:57	18:58	18:59

図10：5月15日（18:00～翌5:59）

分娩前夜、採食は明け方まで行われていますが、採食時間の継続性は短く、座位は20時21分以降見られなくなりました。このことと歩行の頻度が増えていることから、落ち着きがなかった様子が想像できます。図11は、同様の調査を約一週間隔で分娩後一カ月間行い比較したものです。わかりやすくするために、項目を三つ（「立位総合」：立位+採食+授乳、「歩行」、 「座位総合」：座位+首倒し）にまとめました。

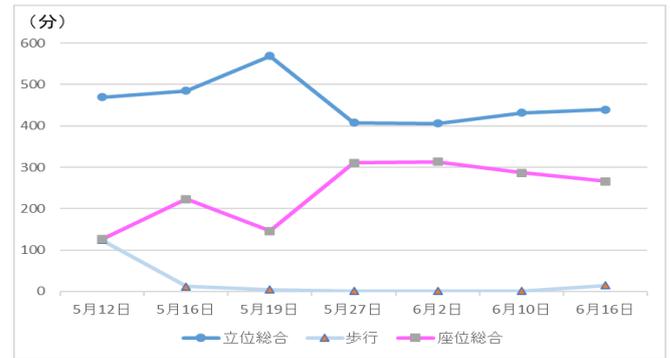


図11

これを見ても分娩前夜の5月12日だけ歩行の時間が突出しており、いかに落ち着きがなくいつもと違う様子であったかがわかります。分娩が始まった午前10時から逆算すると、およそ12時間前からこのような行動変化が見られた結果となりました。前兆行動が起こる時間帯にもよりますが、飼育員がいる時間帯と重なれば前兆を把握するには有効であるといえるでしょう。

☆おわりに

今回の分娩は母子ともに健康で、仔のリユウトは元気にすくすくと成長しています。しかし、安産ではあったものの、分娩直後に杏子が仔の首をしばらくの間踏みつけるというアクシデントもありました。このアクシデントによる外傷などは特になく、これは本当に不幸中の幸いだったと思います。キリンの分娩にはどのようなトラブルが起こるかわかりません。職員のいない夜間に分娩が始まる可能性も考えると、分娩の前兆を把握し、より精度の高い分娩予測をしてトラブル時には即対応できる体制づくりが必要となってきます。そのためにも、日々の行動観察やデータ収集を積み重ねていかなければなりません。分娩はキリンが行い飼育員は見守るだけです。何かあった時の最後の砦となれるよう準備をしておきたいと思います。

色	項目	状態
立位	その場で立っている状態	
歩行	歩いている状態	
採食	餌を食べている状態	
座位	座っている状態	
首倒し	座って首を後方に倒している状態	
授乳	仔に乳を与えている状態	



このページでは、とべ動物園で
仕事をしている職員を紹介して
います。



★氏名を教えてください。

熊岡悟史（くまおかさとし）です。とべ動物園勤務は3回目で通算10年目になります。

★出身地並びに出身地でのエピソードなど。

大阪府岸和田市の出身です。実家が岸和田城から近いので、小学生時代は、お城が遊び場でした。お堀で魚やザリガニを、庭園で昆虫を採っていました。また、石垣をよじ登ることに情熱を注いでいた時期もありました。

★趣味を教えてください。

マラソンです。ここ数年は記録が下がり気味ですが、再来年には自己ベストを更新するつもりです。早くコロナが終息してマラソン大会が開かれることを心待ちにしています。

★なぜ獣医師を志したのですか？

動物を飼育していると病気などで必ず獣医の力が必要になります。獣医の力を借りることなく、動物飼育の全てを自分でやりたいと思ったのが獣医師を志したきっかけです。

★現在担当のお仕事は？

園内の衛生管理全般、病院総括、2係（大型草食獣、ネコ科動物など）の担当獣医師です。

★動物園の中で好きな動物は何ですか？理由もあれば教えてください。

爬虫類です。特にトカゲが好きです。グリーンイグアナを20年間飼育していました。

★その他とべ動物園でのおすすめポイント（動物）などがあれば教えてください。

「形態は機能に従う」この視点で動物たちを観察するのが、私のおすすめポイントです。動物たちの容姿には自然界を生き抜くための機能的な理由があるはず。「ゾウの鼻はなぜ長いのか」「マレーバクの白黒模様は何のため」「フラミンゴの足が長いのはなぜか」などを考えながら観察すると思考が広がり、新たな知見を得るきっかけになります。

★これまで経験してみて、仕事で嬉しかったことはありますか？

仕事で関わった人が目標をかなえた時。「〇〇動物園に就職が決まりました」や「獣医大学に合格しました」と報告を受けた時は、本人の努力や熱意を知っているだけに嬉しかったです。

★今後やってみたいことはありますか？

動物園を「学び」や「研究」の場として活用してもらえるような取組みをしたいです。

★座右の銘を教えてください。

「中庸」です。

★最後に意気込みをひとこと

獣医師として、来園者、職員、動物たちの健康と安全を第一に職務にあたります。

読者投稿用紙

料金受取人払郵便
松山南局承認
68
差出有効期間
2021年3月
15日まで

愛媛県伊予郡砥部町上原町240

**愛媛県立とべ動物園
愛媛動物友の会編集部 行**

|||||

7
9
1
1
1
1
9
0

住所	〒		
	TEL		
氏名	フリガナ		
会員番号		職業	

のりづけ②

のりづけ①

のりづけ③

読者投稿用紙

(イラストや写真も同封できます)

 読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。

 Vol.32-3号でよかった記事、
つまらなかった記事は？

 今後希望する記事・内容は？

 例会でよかった点、つまらな
かった点は？

 例会で今後希望する企画は？

 どうぶつなぞなぞクイズの答え
(正解者のお名前は
vol.32-4号でご紹介します)

答え ○○○

(クイズの問題はP19参照)

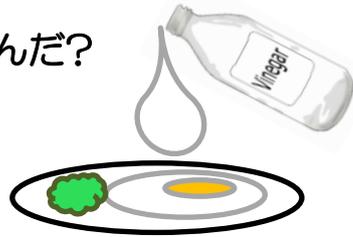
 その他

どうぶつなぞなぞクイズ

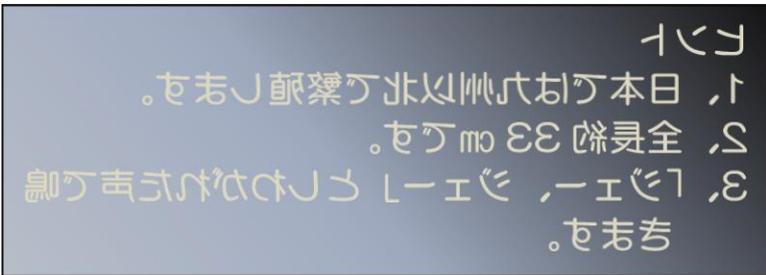
☆問題です！

グルメな動物がいます。とてもピネガーが好きで、肉や魚を食べる時もピネガーをかけてから食べます。

さて、この動物な～んだ？



答え〇〇〇



☆前回の問題

とても寒がりの動物がいます。特にしっぽが冷えると言っています。さて、この動物な～んだ？



ヒント

1. 死んだふりをよくします。
2. ネズミに似ている外見をしています。
3. 有袋類です。

しっぽが冷える→しっぽが寒い→尾っぽが寒い
→尾っぽ寒い→オッポサムイ→オポッサム

答えはオポッサムでした！

Vol.32-2 クイズ正解者

- ★会員番号 No.6 布 美佐子さん
- ★会員番号 No.11 矢野 敬子さん
- ★会員番号 No.21 音地 秀起さん
- ★会員番号 No.50 森 幸子さん
- ★会員番号 No.52 田中 早苗さん
- ★会員番号 No.63 渡邊 和明さん
- ★会員番号 No.65 林 信子さん
- ★会員番号 No.129 尾崎 あかねさん
- ★会員番号 No.130 尾崎 祐輔さん
- ★会員番号 No.131 尾崎 ゆずさん
- ★サポーターNo.67 山崎 亜紀さん
- ★サポーターNo.89 小笠原 恵子さん
- ★サポーターNo.144 中野 桂子さん
- ★一般応募 村井 陽さん

正解の方々にはオリジナルポストカードセットをお送りします。

応募要項

読者投稿用紙のクイズ解答欄に答えを記入して郵送するか、メールでお便り下さい。締め切りは1月20日までにお願いします。

開園案内

- 開園時間 — AM9:00～PM5:00
入園午後 4:30 まで
- 休園日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日～翌年1月1日)
- 入園料 — 大人(18歳以上)500円
高校生(15～17歳)200円
小中学生(6～14歳)100円
(30名以上の団体2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — tomonokai@tobezoo.com

とべZOO Vol-32 No.3

令和2年発行 定価 200円(消費税込)
編集・発行人/公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印刷/公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長/前田 洋一
編集副委員長/椎名 修
編集委員/北本 圭一・宮内 敬介・池田 敬明
宮越 聡・山本 祥菜・平澤 萌・森貞 恭治
池田 智亮・寺岡 史織・吉武 ちとせ



グリーンイグアナ



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）

動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：平成34年5月30日